

《大月市—地域づくり検討フロー》

グループ3

第6次総合計画

《将来像》

「郷土に愛着と誇りを持ち、豊かな自然の恵みを生かし、一人ひとりにやさしく、安全で安心して、健康で住み続けることのできる活力あるまち」

社会動向

- 少子・高齢化から人口減少社会へ
結婚や子育てがしやすい環境づくり、高齢者の生きがいや介護対策など、安心できる高齢社会対策
- 価値観の多様化へ
職業や生き方、家族形態の多様化、職業・結婚・生活様式などでの選択や自由度の拡大
- 共同体や生活単位の再構築へ
地縁型コミュニティから新しい共同体づくりに向けた検討
- 地域間の競争の時代へ
ふるさと納税、特区の推進など独自の地域づくりによる地域間競争
- 安全・安心重視へ
自然災害に対する防災体制、防犯や交通安全など生活安全対策の強化
- 循環型の環境社会へ
廃棄物対策の強化、リユース、リサイクルを基本の資源循環型社会の構築、自然環境の保全・継承
- 高速交通ネットワーク化とグローバル化社会へ
東京五輪、リニア整備、高速道の延伸など意思に関わらず、様々な分野での国内外の人々との交流機会の拡大、社会動向の日常生活への影響
- 情報・物流のネットワーク社会へ
行動圏の拡大の一方、家にいながらの買い物や消費行動など情報やモノの移動性の高まり
- 新しい助け合いや社会保障の視点の構築へ
行動圏の拡大や情報通信などの利便性の向上の一方、交通弱者や情報弱者、経済的な格差など従来の社会保障の視点の見直し

市民アンケートから

- 地域活動や行事への参加は
「している」66%、「していない」27%
- 市の将来人口については
「増加意向」66%、「現状維持」23%
「減少もやむなし」8.3%
- 産業の取り組みは
「優良企業の誘致」41%
「大型店舗の誘致」23%
「入浴等保養施設の整備」20%
「工業地の整備」20%など
- 広報大月を
「毎月読む」人は61%
「ホームページを見ている」人は23%
- 市の情報が充分伝達されていると
「思う」12%、「思わない」31%
- 今後、重視すべきキーワードは、
「福祉」26%、「自然」26%、「活気」25%
「子育て」17%、「定住」17%、「環境」16%
「産業」15%など
- 市の住良さについては
「住みよい(肯定派)」32%
「住みにくい(否定派)」38%
- 今後の居住意向は
「市内居住意向」69%
「市外への転出意向」29%

①地域の現況(10年間で良くなったところ)

1. **福祉・保健の充実**
○子育て支援や医療費免除の充実
2. **都市整備の進展**
○短大周辺に駅と商業施設があることで利便性が良い
○大月市全体がクリーンになってきた
○交通の利便性が向上した
3. **産業・観光の振興**
○大月のブランドやイベントの増加
○自然が多く、登山やツーリングに訪れる人が増えている
○大月の知名度が上がった
4. **行政**
○行政と市民の意思疎通が良くなってきている
○市の将来負担率が下がった

①地域の現況(10年間で悪くなったところ)

1. **福祉・保健面の問題点**
○高齢者の増加に反して、病院の診療科が少ない
○病院の収入減少
2. **都市整備面の問題点**
○水が美味しくないことに加え、水道料金の値上げが2回行われた
○アパートの家賃やガス代が高い
○住宅・病院・公園などの生活環境が変わっていない
○大月駅北側の空き地が活用されていない
○道幅が狭い
3. **人口減少による悪影響**
○労働人口が流出している
4. **子育て・教育面の問題点**
○親の教育力低下
5. **産業・観光面の問題点**
○商店減少と後継者の不足
○仕事がない
○大月市のPRができていない
○地元食材が少ない
6. **その他**
○車のマナーが悪い
○治安が悪い
○人材育成ができていない
○若者が集まれる場所が少ない

②地域の資源と可能性**1. 豊かな自然**

- 市の面積の80%を占める森林
- バイオマス発電の原料とするなど間伐材の利用

2. 産業・観光に活かせる資源

- 登山客が多い
- 富士山の景観とパワースポット
- 軽トラ市の開催
- 外国人客が多い
- HPや情報発信方法を再考し大月の認知度を高める
- 駅周辺に足湯やイルミネーションなどを設置し、乗り換え客への利用促進

3. 都市整備

- 川を小規模水力発電として活用
- 「ツキ」をキーワードに大月のブランド化を図る
- 鉄道とのコラボレーション
- 空家、空き地、学校跡地の活用
- 交通の便が良い

4. 人材

- 大月出身の人材の活用

5. 他に誇れる歴史・文化

- かがり火祭りの開催
- 地域の祭りのPR
- 昭和の雰囲気のある町並み
- まち歩きに歴史探訪などの付加価値をつける

6. 教育

- 短大に科の新設

7. その他

- 大きなことは失敗するので、大月の小さなものを結んでいく

③地域課題**1. 観光の振興**

- 観光客にアンケートを実施し、ニーズを把握する
- 大月駅から観光スポットなどに誘導するための情報発信
- 観光地までの距離が分かるような案内板や地図の設置
- 英語表記の看板設置や、外国語対応可能な店舗を増やすなど、外国人対応の強化
- 手話ができる店舗の設置
- 宗教に対応した食事提供が可能な店舗の案内
- 観光となる子供向けイベント開催
- 大月商店街協同組合と大月市観光協会との連携強化

2. 都市整備

- 高齢者、観光客、登山客にも配慮した道路整備
- 休耕地の道や住宅への転用

3. 環境課題

- バイオマス発電に関する情報（原料や自然への影響など）を明確に市民に伝える
- 大月市は場所を提供しているだけでなく、バイオマス発電に積極的に介入しなければならない

4. 空家・空き店舗等の活用

- サイクルツーリストや登山客などがテントを設置できる場所としての空き店舗貸し出し
- 空き店舗のデータベースを作成し相談窓口で活用
- 空家のシェアハウスとしての活用
- 閉校した学校の空き状況や状態などをデータベース化し、レンタルスペースなどに活用
- 駅に近い住居を必要としている市民に対しての情報提供

5. 人口減少対策

- 移住を促すだけでなく、現在大月に住んでいる人を留めるための商業施設や公園を整備するなどの施策推進

6. 人材活用

- 人材を活用する

④今後10年間の重点取り組み**1. 観光客ニーズの把握とその対応**

- 登山やサイクルツーリスト向けの観光周遊コースの開発
- 宿泊施設や入浴施設の整備
- 大月市のブランドイメージをつくりPRする
- 昔の街並みを新たに造る
- 大月市の物語をつくる
- 行きたく魅力的な施設の整備
- DMO（着地型観光のプラットフォーム組織）を中心に、市民、行政、関係者と連携した観光の振興

2. 空家の活用

- 大月定住のための住宅として、また市外から大月に入ってきてもらうための事業所としての活用

3. ふるさと教育、社会教育の実施

- 大人から子供まで、大月に興味を示し、大月の文化や歴史、土地柄を学ぶことで、郷土愛、ふるさと愛、大月地育力を醸成する
- 子どもたちがふるさとを知り大月に残るような教育の実施

4. 土地の活用

- 道路整備を行い、歩行者や自転車に対する安全を確保する（サイクリングロードの整備）
- 大月駅北側の空き地の活用
- 駅周辺の整備（コンパクトシティの考え方に基づいた都市機能集約）
- 大月IC周辺の空き地活用

●他グループの視点を参考に追加した項目

- 都市機能集約
- 大月の魅力発信
- 福祉、介護
- ジビエの利用
- 耕作放棄地や農地と空き家をセットで貸し出し定住してもらい老後は大月に住んでもらうことで人口増につなげる
- 医療の充実

⑤地域づくりの方向性(キーワード)

富士山、人(の良さ)、にぎわい、明るい、甲州街道、歴史、
つなぐ(つながり)、心優しい、行き交う、集う、笑顔、交流、
元気、おもてなし、ほっとする、ゆとり、ゆったり、安らぐ、
夢、希望、自然、そら、月、富士みち、この人がいるから、
人が集う、魅力、教育(学び)、地域、地育力、縦のつながり、
一本の柱、紡ぐ、自分スタイル、市民が大家族

**⑥大月の将来像(テーマ)**

自然と市民が大家族
人が行き交い 地育力で紡ぐまち 大月